

SCHOOL of SINGAPORE

～シンガポールの学校について～

北辰中学校 嵯峨 夢梨

〈はじめに〉

日本の学校との違いを見つけ、良いところを取り入れたいと思ったのでこのテーマにした。行く前に調べて分かったことは、シンガポールは多民族国家なので、第1言語は英語、第2言語はそれぞれの母語を学べるようになっていること、給食はないので、お弁当を持参したり、食堂で買ったりすること。

〈シンガポールでの調査〉

現地では実際に学校へ行き、学校でできた友達やバディに質問をして調べてきました。

登校



朝



授業



休み



シンガポールの学校は、はじまるのがとても早く、MRTという地下鉄で登校をしている人がたくさんいました。

朝は "morning assembly" という集会があり、国歌を歌いました。

授業はスライドや行うスタイルで、授業態度などは日本よりも厳しくなく、発言などは自由にしていました。スマホの使用は授業中以外OKで、授業中はホワイトボードの横にある箱に出していました。しかし、パソコンでネットフリックスを見たリゲームをしたイラストを描いている人がいたのは少し自由だと感じました。

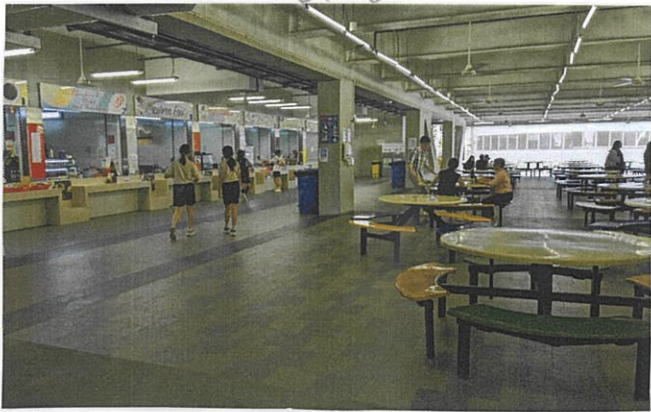
休み時間は昼食をとったり、テラスで休けいしたり、図書館で勉強したり、教室でネットフリックスを見るなど様々な過ごし方をしている人がいました。休み時間は1時間30分と長くとりがありました。昼食はお弁当を持参したり、食堂で買って食べました。食堂は宗教のことを考えられていて、インド料理やイタリアン、日本料理と何種類もありました。

下校

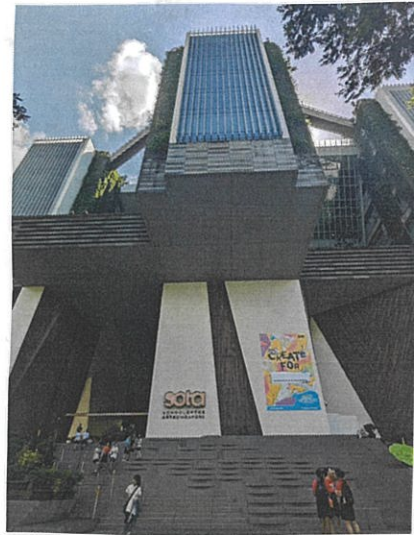
下校時間はその日によって異なり、14:30と早い日もあれば、18:30と遅い日もありました。

〈まとめ〉

調査を終えて、シンガポールの学校と日本の学校は外観から中身まで全ての物事に違いがたくさんあり、どちらにも長所と短所を感じました。例えばシンガポールの学校はフレンドリーな人がたくさんいて、授業の雰囲気も緊張しないような雰囲気で良いと感じた一方、先生が「静かにして」と言ってもなかなか静かにならなかつたときは、日本ってすごいなと思いました。3日間体験入学をしてみても日本で普通にできていることは普通じゃないなと実感することができました。



学校の食堂



学校の外観

〈おわりに〉

シンガポールで約2週間過して、ほぼ毎日「すごい」と思うことが絶対1回はあるくらいすごいことがたくさんありました。でも残念なこともたくさんありました。まったく違う環境の中で生活するのは大変だったし、慣れなかつたけど、お金の使い方とか、洗たく物とか、スケジュールを自分で立てて時間通りに行動するとか、いつも親に頼っていたことを自分で管理するのははじめてで失敗もたくさんしたけれど、自分でなんとかすることを考えられるようになったところが成長したと思いました。来年バディが来た時までに部屋のそうじとか水周りのそうじとかシンガポールでやった時みたいに自分で考えてやることを継続できたらいいなと思います。

